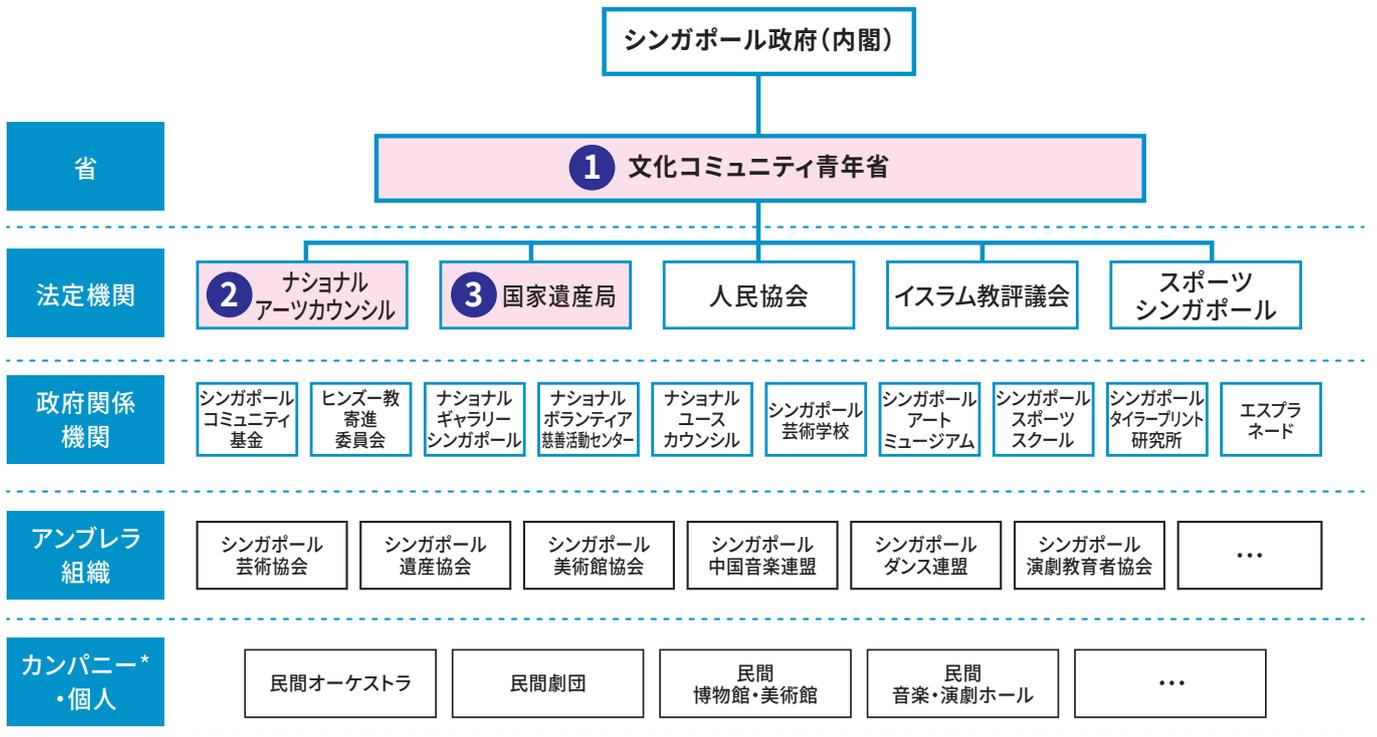


独立行政法人 日本芸術文化振興会 委託事業

シンガポールにおける 文化芸術活動に対する支援をはじめとする 文化振興方策等に関する実態調査報告書

概要版





*カンパニーとは、芸術活動を行う団体のことである
出典：各種公開資料、各団体へのヒアリングよりNRI作成

① 文化コミュニティ青年省 Ministry of Culture, Community and Youth: MCCY

シンガポール政府の文化芸術行政を担当 (報告書P.19～)

文化と遺産、慈善活動、コミュニティ、青少年、スポーツ等を管轄する省である。文化やスポーツを通して国家帰属意識を高めること、若者の社会奉仕活動への参加を促すこと、親切で思いやりのある社会をつくることを目的としている。

② ナショナルアーツカウンシル National Arts Council: NAC

文化芸術分野の主要な助成機関 (報告書P.36～)

シンガポールの持続可能な文化芸術の醸成に尽力しており、主に芸術家や芸術関連のプロジェクトに携わる人々への助成をしている。MCCYが定めた政策や取り組みを実施し、芸術的才能の支援と育成、教育の促進、芸術産業の成長の促進を目的としている。

③ 国家遺産局 National Heritage Board: NHB

遺産分野の主要な助成機関 (報告書P.76～)

シンガポールの歴史を伝え、シンガポールの経験を共有し、シンガポールの精神を伝える役割を担っている。多様なコミュニティが共有する遺産を保存し称えることを使命としており、遺産関連の取り組みに携わる人々への助成をしている。

文化コミュニティ青年省(MCCY)の文化芸術政策

文化コミュニティ青年省の戦略 (報告書P.19~)

MCCYは文化芸術活動を持続可能なものにすることを目指し、人材育成やデジタル化を重視している。重視される要素は芸術文化戦略レビューにより定期的に見直され、改良されている。

Committee of Supply (COS)

MCCYは戦略計画として「Committee of Supply (COS) 2023」を発表しており、その中で7つの要素を挙げている。



シンガポールアーツプラン(2023-2027年)

NACが発行する文化芸術についての中期計画であり、文化芸術の方向性と優先順位、5年間のロードマップを示している。



シンガポールヘリテージプラン2.0

NHBが発行する遺産についての中期計画であり、遺産を新たに発見し称える取り組みに国民を参加させることが目的である。



多様な芸術活動スペースの提供

芸術活動スペースを利用する機会を、全ての人に平等に提供することを目指している。



デジタル化

デジタル化により業務の生産性を向上させること、活動の影響をより広範囲に届けることを目指している。



人材育成

文化芸術産業での専門家のスキル開発を重視している。個人が専門性を開発できるような体系的なプログラムや機会を提供している。



個人事業主の芸術家の保護

2019年11月にアーツリソースハブを立ち上げ、個人事業主の芸術家に対して、活動場所や資金の援助を行っている。



遺産の保存

重要な国家的建造物を修復し、象徴的なランドマークとして保存することで、歴史や文化を国民に身近に感じてもらうことを目指している。

出典: Committee of Supply (COS) 2023よりNRI作成

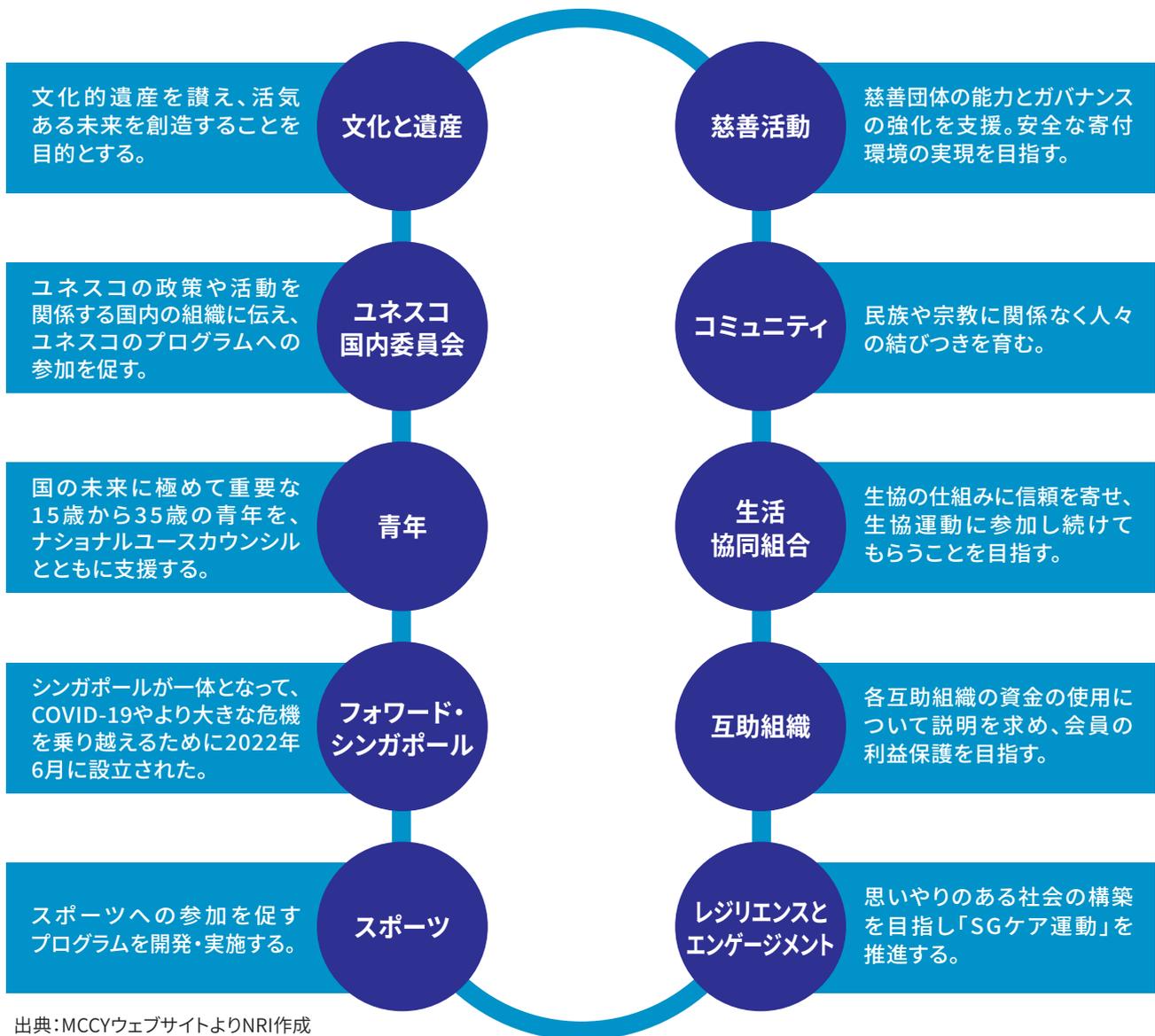
文化コミュニティ青年省の支出 (報告書P42~)

MCCYの2024年度の支出推計値はS\$24億4,849万(約2,742億円)であり、2023年度から2.6%増加する見込みである。シンガポール全体の政府支出はS\$1,118億(約12.5兆円)であり、MCCYの支出は2.2%を占めている。

MCCYの支出のうち最も大きく71.1%を占めるのは、NACやNHB等の法定機関や教育機関等への助成金、補助金、資本注入である。

文化コミュニティ青年省の体制 (報告書P.21～)

MCCYは、文化やスポーツを通して自己を形成し国家帰属意識を高め、また、若者のボランティアや社会奉仕活動への参加を促し、親切で思いやりのある社会をつくることを設置目的としている。以下の10の部門を持っている。



出典:MCCYウェブサイトよりNRI作成

文化コミュニティ青年省の助成制度 (報告書P.26～)

MCCYは、統合、調和、ナショナルアイデンティティを促進する活動を支援するため、主に以下の3つの助成を提供している。

- ・コミュニティ統合ファンド(Community Integration Fund)
2009年9月に国家統合評議会によって設立された。地域コミュニティと外国人の関わりを促進する草の根の活動を実施する団体を支援する。
- ・ハーモニーファンド(Harmony Fund)
民族や宗教の融和を促進する取り組みを支援するため設立された。シンガポールの異なる民族や宗教のコミュニティ間の絆を強め、結束力のある社会の発展に貢献する人々の取り組みを促進する。
- ・私たちのシンガポールファンド(Our Singapore Fund)
国民のアイデンティティの確立に貢献し、社会的・地域的ニーズに応えるプロジェクトを支援するために設立された。個人やグループがアイデアを実現し、社会に良い影響を与えるための手段を提供する。

ナショナルアーツカウンシル(NAC)の概要 I

ナショナルアーツカウンシルの戦略 (報告書P.38~)

NACはシンガポールの文化芸術の方向性と優先順位を策定するため、中期計画として、シンガポールアーツプラン(2023-2027年)を発表した。本計画の策定に際し、NACは2年間にわたり、さまざまなステークホルダーからの意見を取り入れた。本計画は、以下の3つの戦略的なテーマに焦点を当てている。

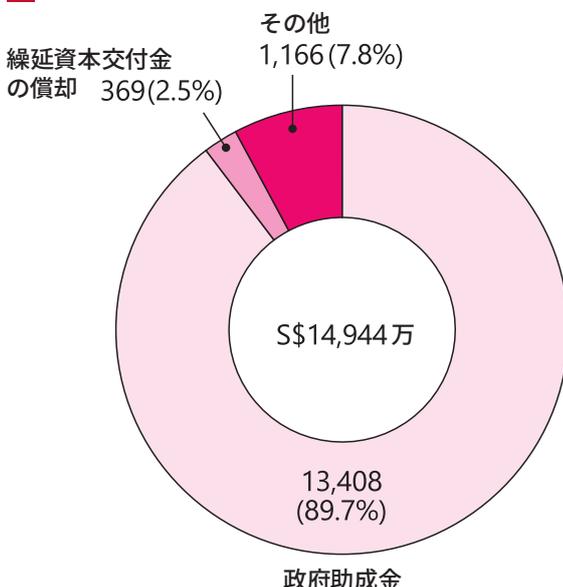
戦略的なテーマ	目的	対応する取り組みの例
つながりのある社会 (A Connected Society)	教育や福祉などの主要な生活分野に芸術体験を組み込むことによって、地域社会と芸術との関わりを促進し、結びつきの強いシンガポールコミュニティを築く	<ul style="list-style-type: none"> 学校や医療における芸術へのアクセスの向上 市民活動における芸術活動のパートナーシップの推進 芸術の社会的影響に対する理解の強化
特色ある都市 (A Distinctive City)	芸術に触発された活気ある空間をシンガポール全土に創造する	<ul style="list-style-type: none"> 政府機関とのコラボレーションを通じた芸術活動スペースの多様化 公共スペースやプライベートスペースへの芸術の浸透
クリエイティブエコノミー (A Creative Economy)	文化芸術分野における新たなビジネスモデルを創出・促進し、卓越した芸術性を育成し、文化芸術分野と隣接する産業との連携を促進する	<ul style="list-style-type: none"> 新しいテクノロジーやデータを活用したビジネスモデル、他部門とのパートナーシップ、地元の芸術家の国際化の機会などの模索 ヘルスケア、環境などの方分野への応用可能性の模索

出典:シンガポールアーツプラン(2023-2027年)よりNRI作成

ナショナルアーツカウンシルの収支 (報告書P.42~)

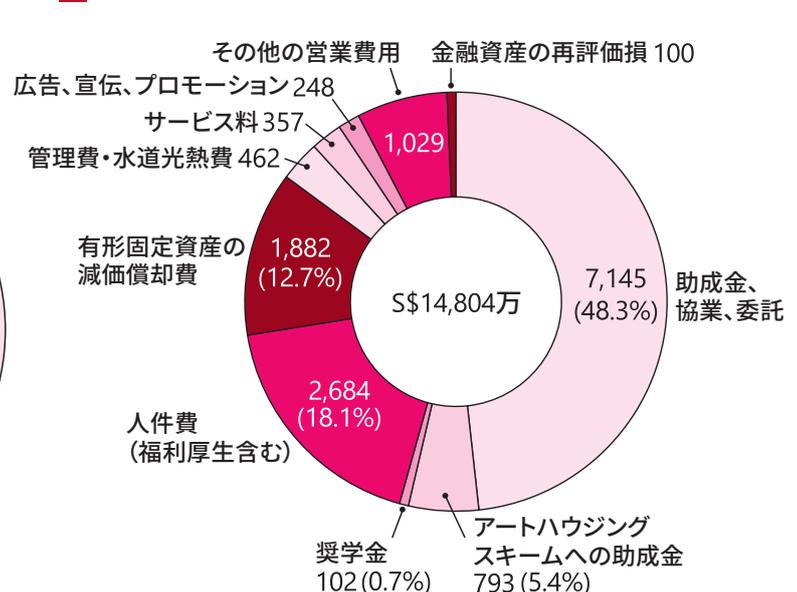
NACは、文化コミュニティ青年省(MCCY)より運営費と開発費を割り当てられている。運営費は、人件費や施設関連費用を含む組織の通常の運営にかかる費用が該当する他、既存のプログラムや助成制度にかかる費用も含まれる。開発費は、新しいプログラムの開発と運営にかかる費用や、施設の改修費・再開費などが該当する。以下のグラフは、2022年度の実績である。政府予算がNACの収入の9割以上を占めている。支出に関しては、アートハウジングスキーム、奨学金を含む助成金が半分強を占めており、人件費、減価償却費が続く。

収入内訳(2022年度)
合計S\$1億4,944万(約167億円)



出典:NAC Annual Report 2022/2023よりNRI作成

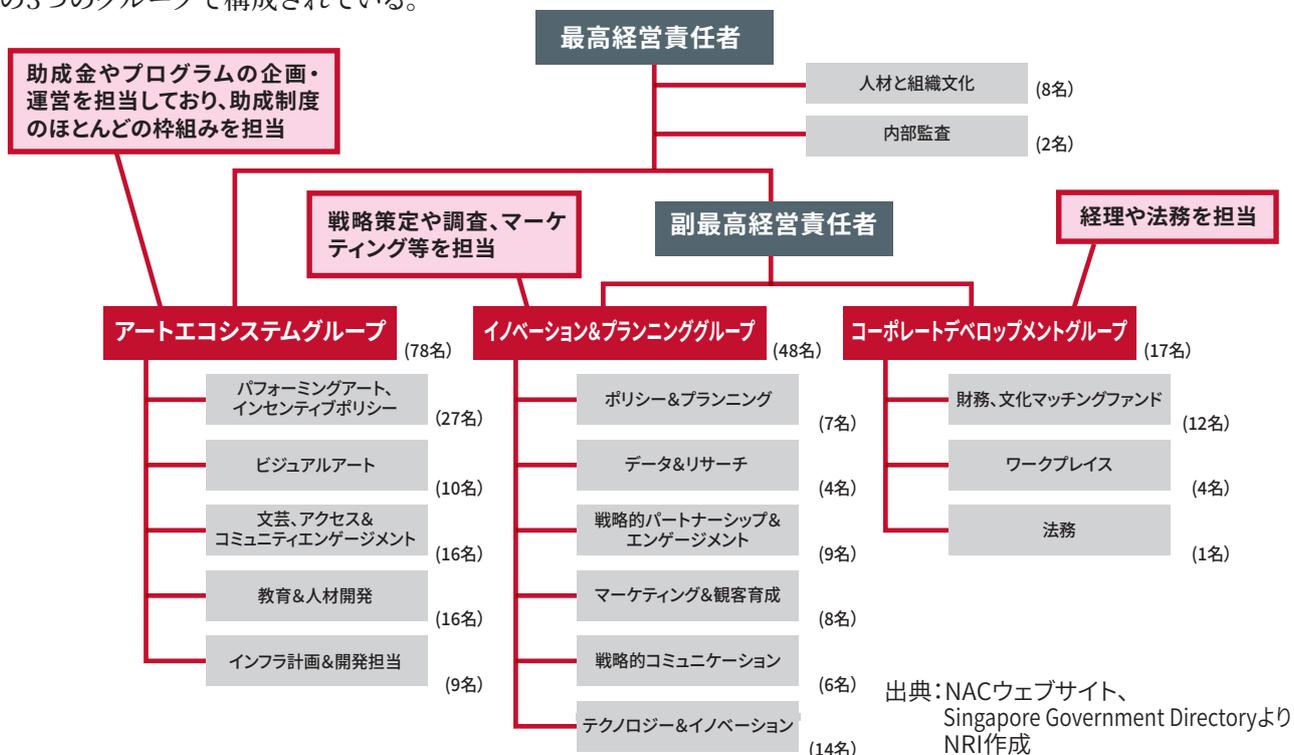
支出内訳(2022年度)
合計S\$1億4,804万(約166億円)



注)その他の営業費用には、交通費、郵便代、通信費、支払利息、事務用品・その他消耗品、土地・建物・その他賃料、有形固定資産償却費が含まれる

ナショナルアーツカウンシルの体制 (報告書P.41～)

NACは、アートエコシステムグループ、イノベーション&プランニンググループ、コーポレートデベロップメントグループの3つのグループで構成されている。



ナショナルアーツカウンシルの助成制度 (報告書P.47～)

NACが提供する助成制度には、NACによる8つの枠組みと、Tote Boardのイニシアチブである「アーツファンド」の合計9つが存在する。組織の運営は「主要カンパニースキーム」と呼ばれる枠組みで助成される。その他はプロジェクトごとに支給される助成金となっている。なお、カンパニーとは、芸術活動を行う団体のことである。2022年度の年間助成件数は合計366件で、S\$7,145 (約80億円)の助成金がNACより提供された。

助成制度	概要	対象活動例
主要カンパニースキーム	芸術制作とアウトリーチ、文化芸術分野への貢献など、卓越した活動を行う文化芸術団体の専門的・芸術的発展を支援	組織運営、展覧会、公演、広報活動、国際的な活動
発表・参加グラント	芸術の多様性を表現し国を豊かにすること、またシンガポールにおける芸術鑑賞や芸術への参加を増やすことを支援	書籍出版、音楽出版、展覧会、公演、フェスティバル
制作グラント	幅広いジャンルのプロジェクトの制作、発表、マーケティング活動を支援	長期的な上演プログラムや展覧会、大規模なフェスティバルなど
創造グラント	シンガポール独自の芸術作品の創作を支援	新しい作品の創作、翻訳・改作
アーツファンド	シンガポール国民が楽しみ、豊かになるような質の高い公演や展覧会を制作する文化芸術団体や芸術家を支援	公演、展覧会、文芸イベント
調査研究グラント	文化芸術分野の知識や情報を広げる調査研究を支援	文化芸術に関する調査研究、芸術実践の保存と記録
能力開発グラント	シンガポールの文化芸術分野で働く人々の継続的な専門能力開発を奨励・支援	職業訓練、能力開発プログラム、OJT活動、メンターシップ
芸術セクター変革基金	市場需要の創出、運営効率の向上、多様な収入源の開発などの成果を達成するような、文化芸術団体の変革の取り組みを支援	目的に合致するあらゆる変革活動
市場・観客育成グラント	国内外の芸術活動のため、観客、パトロン、サポーターを育成する活動を支援	市場調査、マーケティング、広報活動、国際的な活動

出典：NACウェブサイトよりNRI作成

ナショナルアーツカウンシル(NAC)の概要 II

助成事業に関する手続き (報告書P.54~)

助成への申請から採択後の手続きが終了するまでは、申請・審査・採択の決定、助成事業の実施、助成事業の完了手続きの5つのフローから成る3つのフェーズに分けられる。ここでは、例として「発表・参加grant」に関して記載する。

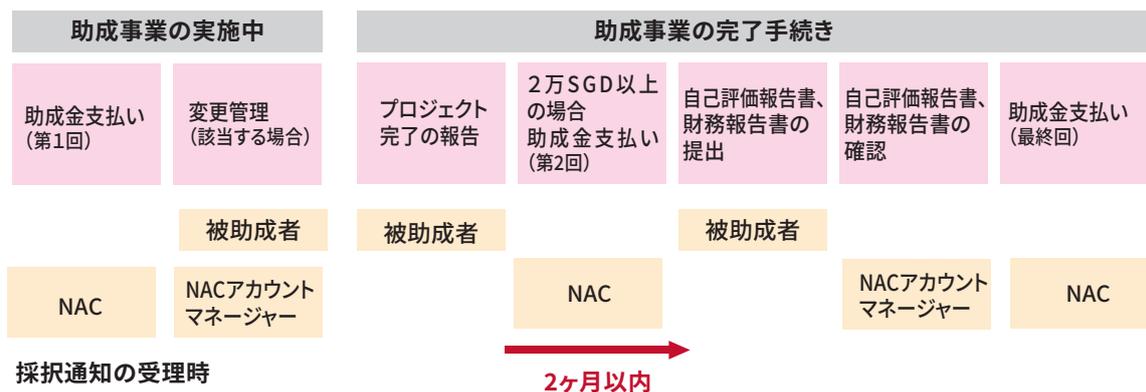
◎申請・審査・採択の決定



出典：NAC「P&P Grant Guidelines」、NACへのヒアリングよりNRI作成

応募申請は、さまざまな政府機関と連携した助成に関するオンラインポータルであるOur SG Grants portal (以下、OSG portal)を通じて行われる。申請者は、OSG portal内の申請フォームに直接情報を入力する他、提案書テンプレート、予算テンプレートを含む添付書類をアップロードする。申請書は、多くの場合、NACの内部チームによって審査されるが、プロジェクトの特性によっては外部の審査員の意見を取り入れる場合がある。採択が決定すると、OSG portalを通じて補助金の条件と合意した成果内容を含む採択通知書が届く。採択された団体には、NACとの連絡を担当するアカウントマネージャーが任命される。

◎助成事業実施中および完了手続き



出典：NAC「P&P Grant Guidelines」、NACへのヒアリングよりNRI作成

アカウントマネージャーは、被助成者の進捗状況を把握し、作品のプロモーションを支援するために、被助成者と継続的にコミュニケーションをとる。コミュニケーションは主にメールを通じて行われ、その頻度はプロジェクトによって大きく異なる。助成期間中にプロジェクトに変更が生じた場合は、アカウントマネージャーと相談の上、必要に応じてOSG portal上の情報を変更する。

プロジェクト終了後、被助成団体は2ヶ月以内に最終的な「自己評価報告書」と「財務報告書」を提出する必要がある。被助成団体からNACへのフィードバックは「自己評価報告書」に含まれる。また、NACから被助成団体へのフィードバックは、被助成団体からリクエストがあった場合またはプロジェクトの質に問題があった場合に行われる。さらに、被助成団体による芸術作品の発表時・公演時には、芸術界で著名な人物によって、成果物に関する洞察が提供される。

助成を支える制度

アカウントマネージャー (報告書P.70～)

被助成団体に提供される助成金を監督・管理する他、被助成団体にアドバイスを提供

- アカウントマネージャーは、NAC職員の中から任命され被助成団体との連絡を行う。
- アカウントマネージャーは、被助成団体に提供される助成金を監督・管理するため、助成金の管理とガバナンスの観点から指導を行うことで、プロセスを円滑にし、サポートを行い、管理上の要件を確実に遵守する。※芸術的な方向性などに関するアドバイスは通常行わない。
- アカウントマネージャーは、被助成団体に対して、組織運営や助成金以外の資金調達の方法、寄付者の獲得方法など、政府からの助成金なしで運営方法についてアドバイスを提供している。

グラント以外の支援 (報告書P70～)

クラウドファンディングの運営、芸術活動スペースやキャリア開発プログラムを提供

- **芸術インフラスキーム**: 活動場所に関連する助成制度。政府の空きビルを活用して芸術団体に芸術活動スペースを補助金価格で提供する「アートハウジングスキーム」等を含む。
- **Sustain the Arts (stART) 基金**: 小規模な文化芸術団体への支援を希望する一般市民や民間企業からクラウドファンディング形式でNACが資金を集め、NACが採択した申請団体に対して提供する基金。
- **アーツリソースハブ**: シンガポールの芸術に従事する個人事業主を対象とした会員制の非金銭的な支援制度。コワーキングスペースの提供、資金計画やネットワーキングイベント等を提供。

調査研究 (報告書P.72～)

NACは、助成事業の改善や政策提言、芸術活動の保存と記録を目的とし、自身または外部機関による調査研究を促進している

- NAC自身による調査研究を「芸術領域別の研究」、「コミュニティの関与」、「デジタルエンゲージメント」に分けて行っている他、毎年シンガポール文化統計を発行している。これらの研究の多くは、芸術を受容する一般市民の意識調査となっていることが特徴的である。
- 「調査研究グラント」は、文化芸術分野における理解を深め、課題に取り組む上で重要な役割を担っており、シンガポールのさまざまな芸術活動の保存と記録にも重点を置いている。

NACにより定期的に行われる代表的な調査研究

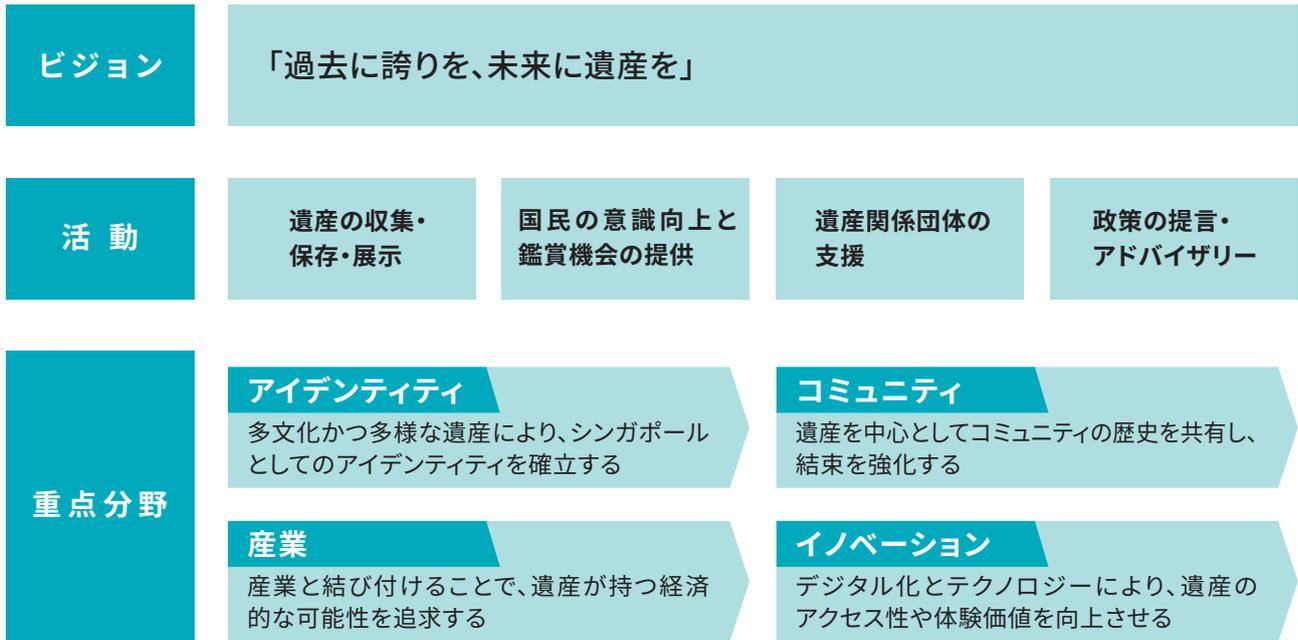
資料名	概要
芸術に関する人口調査 (Population Survey On The Arts)	シンガポールの芸術状況をモニターする継続的な取り組みの一環として2009年から隔年で実施されている人口調査。国民による文化芸術の価値の認識や、文化芸術活動への関与の程度などを把握することを目的としている。
文化的なつながり (Cultural Connections)	2016年より毎年発行されている刊行物。最新版は2022年に発行されており、COVID-19の流行の影響からの脱出を背景に、クリエイティブエコノミーと結束力のある住みやすい社会の構築というテーマを探求している。
シンガポール文化統計 (Singapore Cultural Statistics)	2008年から毎年発行されている文化統計。文化芸術公演、遺産イベント、博物館展示、政府による文化セクターへの助成金についてのデータが含まれている。

出典: カルチャーアカデミーウェブサイトよりNRI作成

国家遺産局(NHB)の概要

国家遺産局の戦略 (報告書P.77～)

NHBは「過去に誇りを、未来に遺産を」というビジョンのもと、シンガポールの多様なコミュニティが共有する遺産を保護・促進している。NHBは、教育・国家建設・文化理解を目的として、国立の博物館やその他遺産機関を管理している。また、国のコレクションを通じた遺産プログラムや展覧会を企画し、現在と将来の世代のためにシンガポールの豊かな遺産を積極的に保護・促進している。



出典：NHBウェブサイトよりNRI作成

国家遺産局の助成制度 (報告書P.82～)

NHBは、5つの助成制度により、遺産に関する組織やプロジェクト、研究、有形文化遺産の復旧を支援している。

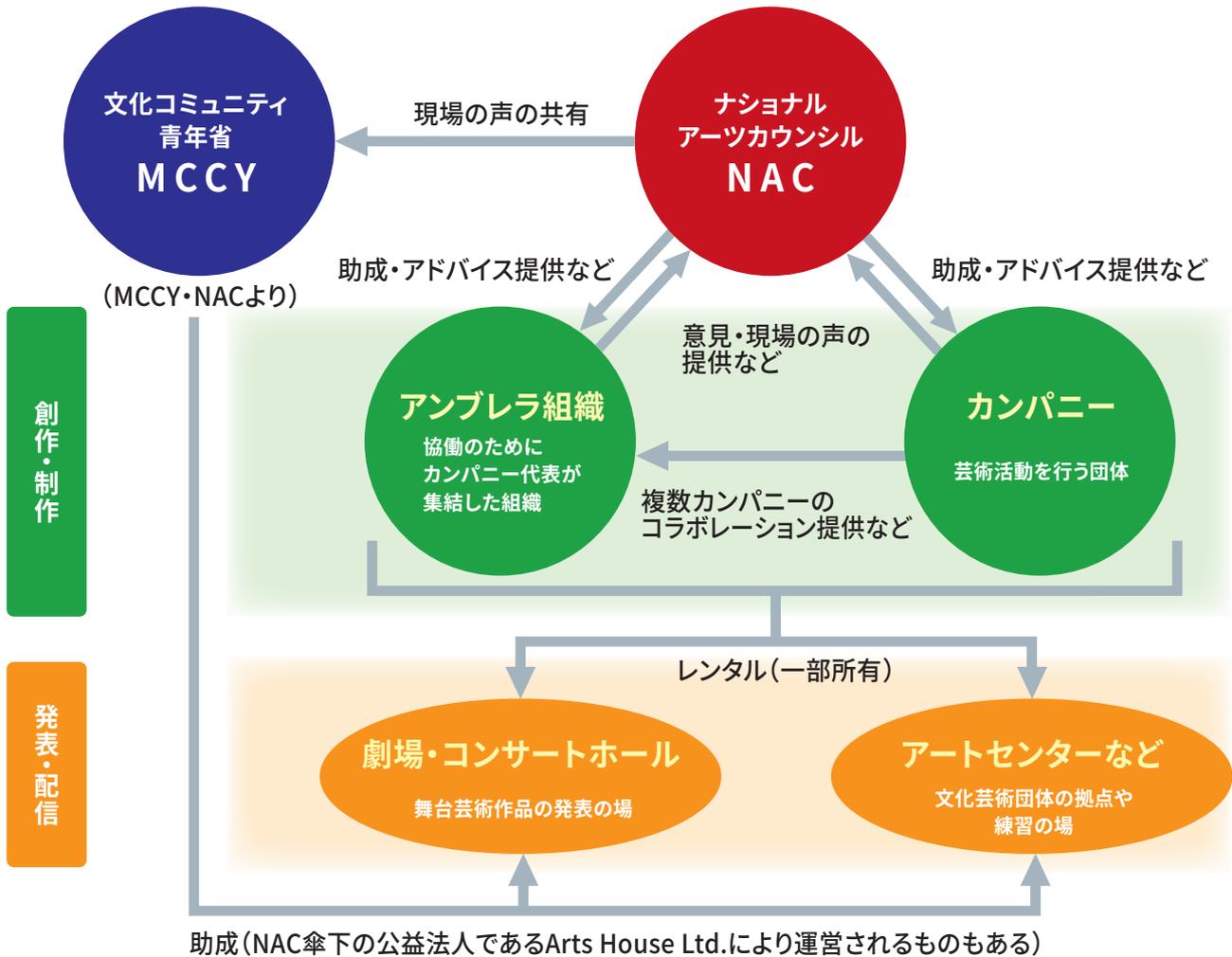
助成制度	概要
組織変革 grant	遺産産業や組織が持続可能性を保つための取り組みを支援。製品・サービスの開発や人材育成、デジタル化を含むテクノロジーの導入等が対象となる。
遺産 grant (小規模・大規模プロジェクト grant)	遺産に関するイベントや展示等のプロジェクトを支援。波及効果の大きさや被助成者のプロジェクト実施経験、被助成実績によって、規模を選択する。
遺産研究 grant	高等教育機関、シンクタンク、遺産 NGO、研究者による、遺産や地域とのつながりに関する研究を支援。研究を通じてシンガポールの遺産を記録し、保存することを目的としている。
国家記念物 fund	国が指定する建造物の維持・修復を支援。特に構造修復が主となっている。
遺産ユース・キックスター・fund	遺産の保護に貢献する若者を支援。ナショナルユースカウンシルと協働している。

出典：NHBウェブサイトよりNRI作成

アンブレラ組織・カンパニー・芸術施設

シンガポールのアートエコシステム (報告書P.94～)

MCCYやNACは、シンガポールのアートエコシステムを、「創作・制作」、「発表・配信」、「鑑賞・支援」の3つに分類しており、その全てを活性化させることをその使命としている。アンブレラ組織やカンパニーは「創作・制作」を担い、芸術施設は「発表・配信」を担う。「鑑賞・支援」は観客や寄付者などが担う。



出典: 各種公開資料、各団体へのヒアリングよりNRI作成

◎3大民族の文化とカンパニー

シンガポールには、いわゆる西洋的な芸術を活動の中心とするカンパニーの他に、中国系・マレー系・インド系の文化芸術を活動の中心とするカンパニーが多数存在する。その中には、生演奏の音楽に合わせて舞踊を踊るものなど、複数の芸術領域を対象としているものもみられる。また、「シンガポールマレー伝統音楽連盟」や「シンガポール中国音楽連盟」など、アンブレラ組織を設立してカンパニー間の横のつながりやコラボレーションを促進する動きもみられる。

◎無条件で運営費助成を受ける3つの団体

NACによる助成の枠組みは、公募制のものが原則となっているが、審査なしでNACによる運営費助成を受けている団体が3団体存在する。その1つは、シンガポール国内にて芸術活動スペースを提供するArts House Ltd.であり、NAC傘下の保証有限責任会社であるため特別措置を受ける。残りの2団体は、カンパニーであるSingapore Symphony Orchestra (以下、SSO)とSingapore Chinese Orchestra (以下、SCO)である。SSO、SCOは国を代表するオーケストラとして設立されたため、特別措置を受ける。

シンガポールの文化芸術を取り巻く周辺政策

国民の結束を促す政策と、その手段としての文化芸術活動

民族融和政策 (報告書P.116～)

多種多様な民族・言語・宗教を抱える国家であるシンガポールでは、建国時より、憲法において各民族の文化・アイデンティティが尊重されている。一方で、各民族内でもそれぞれ違ったグループが存在し、国への帰属意識や国民の一体感も希薄な状態であった。これを受け、シンガポール人として統合するための民族融和政策が進められてきた。その具体例が学校教育を通じた国民教育や、公用語と言語教育である。

- **国民教育**: シンガポールの歴史的・社会的な事実を学ぶだけでなく、愛国心を育み、国家への帰属意識を醸成することを目的とする。毎日の国旗掲揚、国歌やシンガポール国民の誓いの斉唱もその一部となっている。
- **公用語と言語教育**: 中国系・マレー系・インド系という3大民族の間の調整を図るために、英語・中国語・マレー語・タミール語の4つの公用語が定められ、民族融和政策として2言語教育が実施されている。

地域行政サービス・コミュニティ (報告書P.118～)

シンガポールでは、民族間の調和を課題の一つとし、地域行政サービスやコミュニティ組織を通じてその解決を図っている。地域行政サービス・コミュニティ組織では、国民の結束を促す手段の一つとして文化芸術活動を積極的に取り入れている。人口約564万人(2022年)の都市国家シンガポールには、日本や多くの国々にみられるような地方自治体は存在しない。州や都道府県、市町村による地方行政システムではなく、国の各省庁やその関係機関である法定機関が、直接地域住民に対する行政サービスを提供している。また、住民の日常生活に関わる身近な問題を取扱う組織が存在する。

• 人民協会

「民族の融和と社会的結合」の促進を目的とし、民族・言語・宗教に関係なく、団結する結束力のあるコミュニティ「1つの国民、1つのシンガポール」の構築を目指す。共通の趣味や特徴を持つ人々の他、異なる興味や背景を持つコミュニティやグループを結びつける役割も果たす。地域住民を対象としたさまざまな文化や習慣に触れることのできるイベントなどの企画・実施・支援を行う。

• 社会開発協議会

住民参加による連帯意識の強化を目的とする。地域により密着した事業を行うことで人民協会の地域活動を支える。「思いやりのある地域社会」、「健康的な地域社会」、「インクルーシブな地域社会」、「学習する地域社会」、「持続可能な地域社会」の5つのテーマを戦略の軸とする。

• 草の根団体

人民協会の活動を支える地域の団体としてシンガポールのコミュニティ活動の一部を担う。運営は人民協会に任命されたボランティアが行い、14の委員会を設置してさまざまなテーマを扱う。

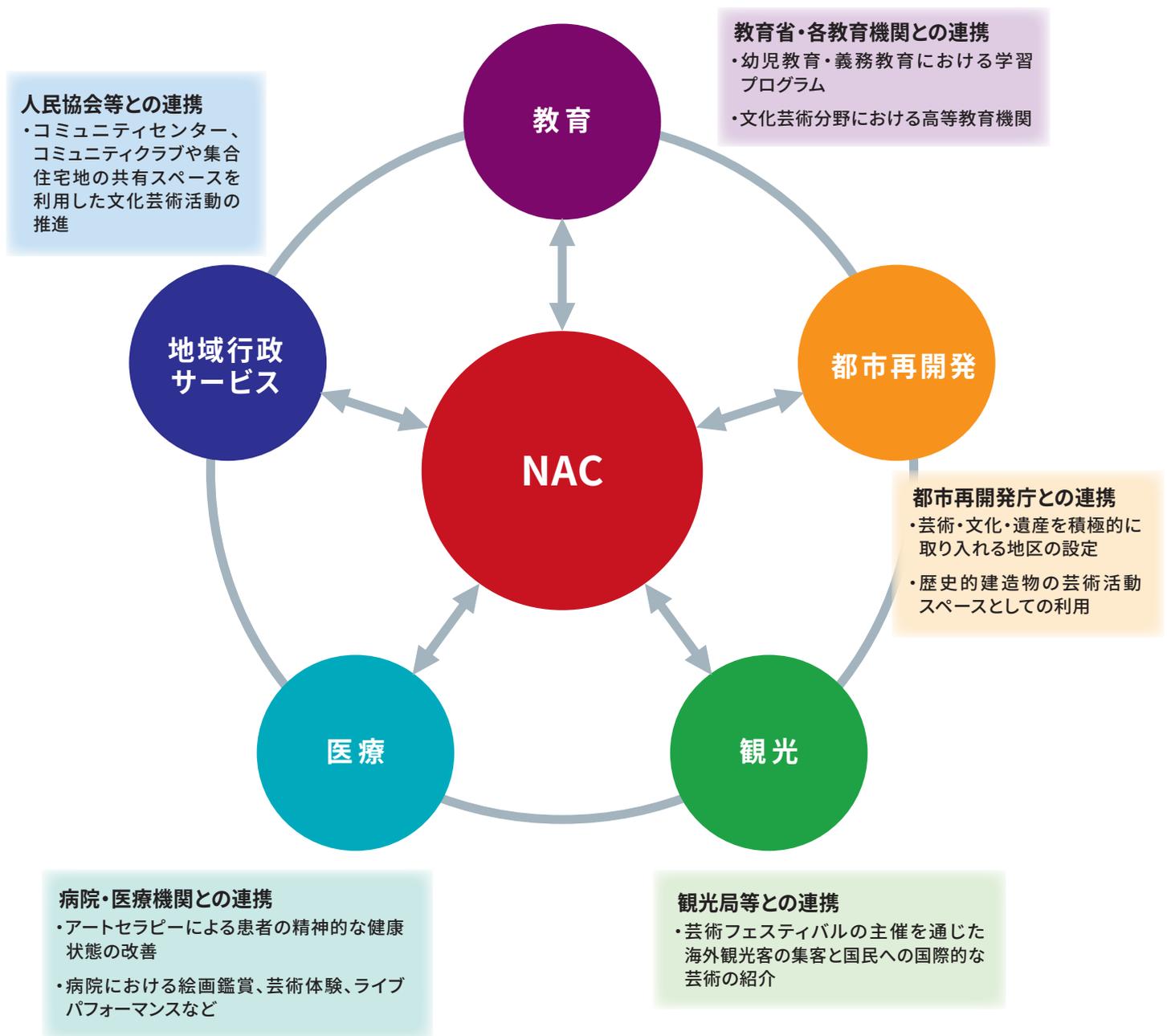
• コミュニティセンター、コミュニティクラブ

協会や社会開発協議会が地域住民に密着した活動を実施する場所として、草の根団体によって運営される施設。シンガポール内に108カ所あり、ダンススタジオや多目的ホール、体育館、コンピュータールーム、調理室、塾等がある。

シンガポールの文化芸術における周辺分野連携 (報告書P.124～)

シンガポールの文化芸術分野の発展は、観光、ホスピタリティ、教育など多くの産業において活気あるエコシステムを構築し、大きな波及効果を生み出している。こうした周辺分野との連携は、文化芸術分野のバリューチェーンを強化するだけでなく経済成長への刺激となっており、イノベーションを促進し、社会的結束を高める上で重要な役割を果たしている。NACが特に注力しているのは、下記の5分野である。

連携する周辺分野とその活動内容



出典: 各種公開資料、各団体へのヒアリングよりNRI作成

シンガポールの文化芸術を取り巻く周辺政策

持続可能性を目的とした周辺分野との連携 (報告書P.134~)

持続可能な文化芸術活動・運営を目指した仕組み

NACは、文化芸術活動を持続可能なものとするために、芸術家の教育と周辺産業との連携が重要であるとし、芸術産業におけるキャリアパスの創出、民間企業とのパートナーシップ、民間企業からの文化芸術分野への寄付を推進している。以下は、その事例の一部である。

芸術産業におけるキャリアパスの創出

文化芸術分野における就職に必要な情報を紹介する「芸術のためのスキルフレームワーク」の作成にNACが関与している他、エスプラネードなどの文化芸術施設などによるトレーニングプログラムや技能実習プログラムなどがある。

民間企業とのパートナーシップ

大手銀行や通信会社とのパートナーシップが多くみられる。複数の共同企画を行う広範なMoUの締結や、文化芸術施設の建築に対する寄付などが含まれる。

文化芸術分野への寄付

オンライン上での寄付を可能とする寄付プラットフォームである、MCCYが支援するGiving.sgや、NACを通じた文化芸術への寄付、NACが運営するクラウドファンディングである「stART基金」などが挙げられる。多くのプラットフォームがオンラインでの寄付を可能としており、時と場所を選ばずに興味や関心のある団体や活動に対する寄付を可能とする他、寄付金の使われ方や成果の可視化による寄付者の満足度向上も図っている。

Future

本調査の報告書は独立行政法人日本芸術文化振興会のウェブサイトよりご覧いただけます。

報告書



第1部 シンガポールの文化芸術活動に対する支援

- 第1章 政府の文化芸術政策
- 第2章 ナショナルアーツカウンシルの文化芸術助成
- 第3章 国家遺産局の文化芸術助成
- 第4章 アンブレラ組織・カンパニー・芸術施設

第2部 シンガポールの文化芸術を取り巻く周辺政策

- 第1章 シンガポール人のアイデンティティ形成を支える政策と地域行政サービス
- 第2章 シンガポールの文化芸術を維持・発展させる仕組み作り

別冊 関連文献



ナショナルアーツカウンシルシンガポール発行
NAC Annual Report Financial Year 2022/2023 “TAKING SHAPE”
ナショナルアーツカウンシル(NAC) TAKING SHAPE 年次報告書 2022/2023会計年度



ナショナルアーツカウンシルシンガポール発行
OUR SG ARTS PLAN (2023-2027)
シンガポールアーツプラン 2023-2027年

シンガポールにおける文化芸術活動に対する支援を
はじめとする文化振興方策等に関する実態調査報告書

概要版

[委託元] 独立行政法人 日本芸術文化振興会

〒102-8656 東京都千代田区隼町4-1
<https://www.ntj.jac.go.jp>

[受託先] Nomura Research Institute Singapore Pte. Ltd.

10 Marina Boulevard, Marina Bay Financial Centre, Tower 2, #33-02, Singapore 018983
<https://nrisg.com/>

発行日 令和6年5月

無断複写・転載はお断りします。